

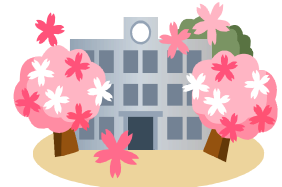
平成29年度

中筋中学校の授業改善

四万十市立中筋中学校

学校教育目標

『自ら学び、共に歩み、未来を拓く生徒の育成』



研究主題

『課題意識を持ち、主体的・対話的に学び合う生徒の育成』
～言語活動の充実を目指した授業づくり～

研究仮説

- | | |
|-----|---|
| 仮説Ⅰ | 導入において、問題解決的な学習の過程を明確にし、生徒の興味関心を引く問題や教材・めあてを工夫すれば、自ら課題解決に取り組む子どもを育てることができるであろう。 |
| 仮説Ⅱ | 生徒が主体となって考えを出し合う場面において、友達の意見と比較検討して、自分の考えを整理する活動を行えば、互いに伝え合い考えを深める子どもが育つであろう。 |
| 仮説Ⅲ | 終末において、学び合ったことをまとめ、学習内容を活用する（学習を振り返る）場면을位置付ければ、学習内容が確実に定着できるであろう。 |

授業改善の取り組み

研究仮説に則り、小規模校の利点を生かしながら以下の4点に取り組む。



- | |
|-----------------------------------|
| 1. 生徒の興味関心を引くめあてを工夫し、授業の流れを視覚化する。 |
| 2. 個で解決させる場面を設定し、個に応じた支援を行う。 |
| 3. 生徒が主体となって考えを出し合う場面を設定し、理解を深める。 |
| 4. 学び合ったことをまとめ、授業の振り返りを行う。 |